

関係団体アンケート結果まとめ

第 6 次荒尾市総合計画(仮称)の策定に当たり、市内の各種団体において抱える課題やその解決に向けた取組状況などを把握するため、6 月にアンケート調査を実施した。アンケート結果について、以下のとおり整理する。

■ 調査概要

○対象団体

現行の総合計画に定める政策や、市内の各種団体の趣旨・取組内容に鑑み、以下の団体を対象とした。

1. 荒尾商工会議所
2. 荒尾市観光協会
3. 玉名農業協同組合
4. 荒尾酪農業協同組合
5. 荒尾漁業協同組合
6. 荒尾市金融団
7. 玉名公共職業安定所
8. ポリテクセンター
9. 荒尾市三師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会）
10. 荒尾市体育協会
11. 荒尾市文化協会
12. 熊本県宅地建物取引業協会荒尾支部
13. 荒尾・玉名地域結婚サポートセンター
14. 荒尾市社会福祉協議会
15. 荒尾市子ども会連合会
16. 荒尾青年会議所
17. 荒尾市老人クラブ連合会
18. 女性ネットワーク荒尾
19. 荒尾市 PTA 連合会
20. 荒尾市商店連合会
21. 荒尾ロータリークラブ
22. 荒尾ライオンズクラブ
23. 荒尾市シルバー人材センター
24. 荒尾飲食店組合
25. 荒尾市建設業協会
26. 荒尾市小中学校校長会

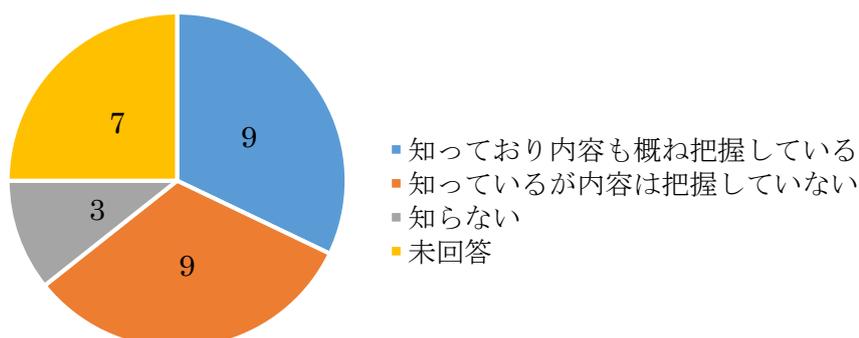
○主な調査内容

- ① 「人口ビジョン」「総合戦略」の認知度について
- ② 各種団体において抱える中期的な取組が必要な課題について
- ③ 今後の人口減少の進行や ICT の普及などによる影響について
- ④ 地方創生(人口減少対策)に関し団体が独自で取り組んでいる施策等について

■ 結果概要

○「人口ビジョン」「総合戦略」の認知度について

本市の総合計画について、内容を含め把握している団体は 9 団体と半数以下であった。



○各種団体において抱える中期的な取組みが必要な課題について

人材不足（会員数減少）への対応や人材育成など、「ひと」に関する内容が多く挙げられていた。

- ・生産技術向上などによる農業者の所得向上や高齢化に伴う農家数減少、担い手の育成
- ・離職者の増加、労働時間の短縮に伴う人材育成時間の確保
- ・人材（特に歯科衛生士や薬剤師）不足、在宅医療の増加への対応
- ・地域活動の担い手不足による活動衰退、生活困窮者対策
- ・家庭環境（共働きなど）の変化に伴う子ども会会員の減少
- ・出生率を上げるための子育て支援や就労支援
- ・国際化を見据えた人材育成
- ・女性の人材育成及び活躍促進
- ・消費行動の変化（ネット通販など）による商店街へのニーズの低下
- ・学力や郷土愛の育成、スポーツ環境・指導者の整備・育成

○今後の人口減少の進行やICTの普及などによる影響について

ICTの普及に伴い、業務効率化やコスト削減等が進み、生産性が向上することについて期待する意見が多く挙げられていた。一方で、ICT社会への対応（人材育成や働き方の変化など）やコミュニケーションの希薄化を懸念する意見も挙げられていた。

【良くなると思われること】

- ・AI等の活用による定型業務などの業務効率化（畜産分野、事務分野、相談分野など）
- ・労働時間の短縮
- ・データ解析等を踏まえた需要予測の充実によるロスの削減
- ・人件費などの運営コストの低減

【悪くなると思われること】

- ・ICT環境の整備段階におけるコスト増
- ・コミュニケーションの希薄化や地域コミュニティの衰退
- ・働き方や職種の変化（なくなる仕事の発生）

○地方創生（人口減少対策）に関し団体が独自で取り組んでいる施策等について

人材の市外流出に伴う人手不足への対応や「Society5.0」の到来を見据えた人材育成、安全安心のまちづくりに向けた取組みなど、課題を踏まえた施策が挙げられていた。各団体とも経営資源が限られる中、効果的に施策を推進するためにも、官民連携など協働による取組みを検討する必要がある。

- ・地元就職促進のための高校の先生と地元企業との情報交換会や企業説明会などの開催
- ・休眠中の歯科衛生士の情報収集や再就職支援
- ・AIやIoTの活用方法をはじめ生産性向上に資する人材の育成
- ・安全安心なまちづくりのための防犯・防災活動
- ・地縁組織以外のコミュニティづくり
- ・男性の育児・介護への取り組みの推進